

## 令和 6 年度 宮城県特別支援教育将来構想審議会実地調査について

令和 6 年 8 月 2 日

宮城県教育庁特別支援教育課

## 1 目的

宮城県特別支援教育将来構想、後期計画で整理された 3 つの優先課題の解決へ向けての「主な取組」について、毎年度 3 件程度を選定、実地調査を行い、その後の審議会での評価をお願いします。評価いただいた内容は、新たな宮城県特別支援教育将来構想に反映することとしています。

## 2 日程

令和 6 年 9 月～11 月

視察時間は事業の内容によりますが、おおむね 2 時間程度とします。

## 3 調査を実施する取組

## (1) 就学相談活動への支援

目標	自立と社会参加
主な取組	就学相談活動への支援（優先課題 1）
事業名	R5-1 視覚障害・聴覚障害のある乳幼児に対する教育相談充実事業
担当課	特別支援教育課、県立特別支援学校
事業内容	視能訓練士や言語聴覚士による乳幼児教育相談（来所、市町村への訪問、オンライン）
取組方針・達成目標	発達支援に関する相談を中心に、相談件数が年々増加している状況において、保護者や学校からの相談に適切に対応するため、相談員を十分確保するとともに、医療・福祉等と連携した相談体制を整備する。
令和 6 年度事業概要	○視覚支援学校、聴覚支援学校に視能訓練士や聴覚支援学校、心理士等を派遣し、乳幼児教育相談担当者の専門性を高める。 ○遠方の乳幼児を対象とした移動教育相談やオンライン教育相談を実施する。 ○幼稚園、小学校等での教員向け研修会や普及パンフレットの配布により、早期支援の充実を図る。

(2) 共に学ぶ教育の推進／インクルーシブ教育システムの構築

目標	学校づくり / 地域づくり
主な取組	共に学ぶ教育の推進（優先課題3）／インクルーシブ教育システムの構築（優先課題3）
事業名	9、31 居住地校学習推進事業
担当課	特別支援教育課、県立特別支援学校、市町村教委、小・中学校等
事業内容	○県立特別支援学校の児童生徒が地元の学校で共に学ぶための教育環境づくり ○連絡会議の開催
取組方針・達成目標	実施率目標値36%の達成を目指すとともに、小学校で実施していた児童から中学校の実施への接続に積極的に働き掛ける。また、中学校での実施率25%を目指し、令和6年度には30%にする。
令和6年度事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学校に通う小・中学生が居住地である地域の小・中学校と交流及び共同学習に行い、共に学ぶための教育環境づくりを行う。（児童生徒の実態に応じて、オンラインによる間接交流から直接交流に段階的に実践する）</li> <li>・年2回（8月参集型、2月WEB会議）担当者を集めて情報共有及び推進のための協議をする。</li> <li>・参加者は特別支援学校コーディネーター、教育事務所指導主事、仙台市教育委員会指導主事等。</li> </ul>

(3) 教育環境整備の推進

目標	学校づくり
主な取組	教育環境整備の推進
事業名	27 校舎改築事業
担当課	施設整備課
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県立特別支援学校の老朽化対応</li> <li>・仙台南部地区特別支援学校（仮称）の新設</li> </ul>
取組方針・達成目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○計画的な改修等により教育環境を整備する。</li> <li>○令和6年度中の供用開始を目指し、視覚支援学校の改築事業を行う。</li> <li>○令和6年度の開校を目指し、仙台南部地区特別支援学校（仮称）の新築を行う。</li> </ul>
令和6年度事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き計画的に改修等を行い、教育環境を整備する。</li> <li>○視覚支援学校旧校舎等解体工事、旧校舎等改築工事</li> <li>○聴覚支援学校校舎等改築設計</li> <li>○校舎等小規模改修（トイレ洋式化、エレベーター更新、照明設備LED化改修等） 外</li> </ul>